

「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)を実現推進するって、どのようなことなの？

「仕事と生活の調和」って何？
(ワーク・ライフ・バランス)

育児や介護、疲労回復や自己啓発等の時間を確保しつつ、仕事に意欲をもって取り組み、安心して働きたいと考える多様な人材に対し、柔軟で多様な働き方を提供したり、時間効率を高める取り組みや職場風土づくり等を行ったりする重要な人材活用の基本理念です。

「仕事と生活の調和」が
企業にもたらす効果とは

「仕事と生活の調和」実現のために、
どのように取り組めばいいの？

最近、保育の送迎で
若手従業員の早退、
欠勤が目立つな…



だったら、柔軟な勤務形態や
時間単位の休暇制度を
をつくらうか！

課長が介護の手続きで
年休を取りたいと言ってきたな。
丸1日も休まれると困るのだが…

育児で早く帰らないと
いけないけれど、
残業が続いている…



働き方を見直して、
短時間で効率よく働くための
工夫をしよう！

休暇制度は充実しているも、
休みを言い出せない
雰囲気があるな…

職場風土を良くしたい
もっと、コミュニケーションを
円滑にしてみよう！

優秀な人材の確保・定着

- 優秀な従業員が安心して働いてくれる (WEB制作/従業員23人)
- 離職率が大幅に低下した (病院/294人)
- 採用活動に反映される (情報通信/127人)

能力・意欲の発揮

- 多様な能力が十分に発揮される (病院/221人)
- イノベーションを起こすため多くの知恵が結集される (医療/192人)
- 従業員自ら仕事を工夫することが増えた (建材加工業/106人)

時間管理・業務効率の向上

- 業務の効率化や残業時間の削減ができた (卸売業/27人)
- 限られた時間を大切にするため、生産性も向上 (情報通信/74人)
- 仕事の優先順位を考え、残業削減による経費削減 (卸売業/179人)

明るい職場風土の形成

- お互い様意識や助け合う風土が生まれる (販売業/371人)
- 職場の雰囲気がよくなり、自発性が育つ (病院/175人)
- 社員が気軽に声を掛け合う風土が形成される (製造業/2,456人)

極意その1
「男女ともに働きやすい
職場づくり」
を目指す

多様で柔軟な
働き方をつくる

- 保育の送迎、介護施設への送迎といった少しの時間を生活にさくことができる「時差出勤」「フレックス」等
- 急な子どもの病気や、認知症の親への対応のための「時間単位の休暇」「看護休暇」等
- 育児休業、介護休業等の長期休業からの復帰後「仕事と生活の両立」に不安な時期への対応として「短時間勤務」「在宅勤務」等

適正な時間管理をする

- 疲労感蓄積等での健康問題や作業ミスを減らすための休暇取得向上に向けた「一斉退社日」「管理職・上司からの声かけ運動」等
- 休暇した人の仕事を引き継げる「多能工化」「マニュアル整備」等

極意その2
「職場風土・体制」を
つくる

- 「職場改善委員会」や各職場に「キーパーソン」を配置する等
- 職場の助け合いやコミュニケーションを良くするための「あいさつ運動」「経営者・上司との個人面談」等

これらの取り組みを進めるために、まずは、「仕事と生活の調和」推進を宣言しませんか。ひょうご仕事と生活センターは皆様をサポートします!!